

2022 年 5 月 24 日

## SUBARU 2022 年ニュルブルクリンク 24 時間レースに参戦

SUBARU のモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル株式会社\*1 は、2022 年 5 月 26 日から 29 日にかけて、ドイツ・ラインラント＝プファルツ州アイフェル地方のニュルブルクリンクサーキットで開催される第 50 回ニュルブルクリンク 24 時間レースに、WRX STI をベースとする車両で参戦します。



SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2022

2008 年から参戦して以来、今年で 15 回目\*2、3 年ぶりの挑戦となる SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2022 は、これまでと同様に 2.0 リットル以下のターボエンジン搭載車が競う「SP3T」クラスに参戦し、同クラスで 7 度目の優勝を目指します。

全長 25km、高低差 300m と起伏が激しく、天候も刻々と変化する世界一過酷と言われるコースで、「速く」かつ「意のままに操る」ために、水平対向エンジンとシンメトリカル AWD の基本レイアウトを活かしつつ、前回の参戦車両から、以下の性能を高めました。

### 【SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2022 主な改良点】

- ・タイヤサイズ／ホイールサイズの拡大によるグリップ & 操安性向上
- ・燃料タンク大容量化と燃料制御最適化による一充填航続可能距離の延長
- ・車両重量に合わせたセットアップ最適化
- ・衝突防止警告システムの導入
- ・テレメトリー通信レベルの改善
- ・電動パワーステアリング採用によるドライバーの負担軽減

チーム総監督は辰己英治、監督は沢田拓也が担当。ドライバーは、カルロ・ヴァン・ダム(オランダ)、ティム・シュリック(ドイツ)、マセール・ラッセー(ドイツ)、佐々木孝太(日本)の布陣で挑みます。

また、今回も全国の SUBARU 販売店から選抜された 8 名のメカニックがチームに参加し、レースをサポートします。

販売店メカニックの海外自動車レースへの参加は、メカニックの技術力向上により、お客様にカーライフの「安心と愉しさ」をお届けすることを目的に 1990 年より継続しています。

\*1:スバルテクニカインターナショナル株式会社(代表:平岡泰雄、東京都三鷹市、略称:STI)

\*2:新型コロナウイルス感染症の影響により 2020 年、2021 年は参戦見送り

<SUBARU MOTORSPORT MAGAZINE NBR CHALLENGE 2022 オフィシャル Web サイト>

<https://www.subaru-msm.com/2022/nbr/>

<スバルテクニカインターナショナル オフィシャル Web サイト>

<https://www.sti.jp/>

【総監督・監督】



総監督 辰己英治



監督 沢田拓也

【ドライバー】



カルロ・ヴァン・ダム



ティム・シュリック



マセール・ラッセー



佐々木孝太

【SUBARU 販売店メカニック】



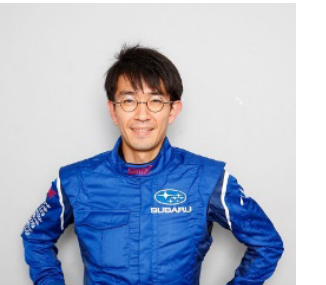
北海道スバル 沼倉寛樹



岩手スバル自動車 千田武紀



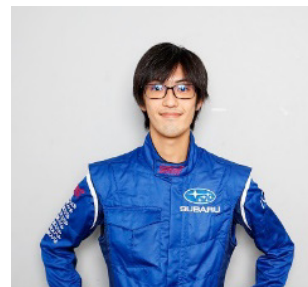
新潟スバル自動車 駒形允



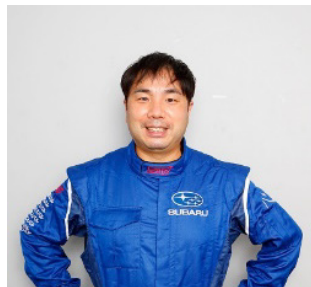
神奈川スバル 西村直人



千葉スバル 石橋裕也



東京スバル 長澤慎馬



奈良スバル自動車 西井誠



大阪スバル 春本直輝

**【参戦車両詳細】**

車両名	SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2022
全長	5,120mm
全幅	1,900mm
全高	1,395mm
ホイールベース	2,700mm
エンジン	EJ20 BOXER DOHC 16バルブ AVCS シングルスクロールターボ
排気量	1,994cc
車両重量	1,300kg
最高出力	250kw(340PS) / 5,500rpm
最大トルク	461Nm(47kgf・m) / 3,000rpm
エアリストリクター	φ37
変速機	6速シーケンシャルギヤボックス+パドルシフト
クラッチ	小倉クラッチ製 メタルクアッドプレート
サスペンション	フロント：ストラット / リヤ：ダブルウィッシュボーン
ブレーキ	フロント：6ポット / リヤ：4ポット エンドレスパッドをセット
ホイール	BBS 製 18インチ x 11J
タイヤ	FALKEN 製 280/680R18

なお、商品等についてのお問い合わせは、最寄りの販売会社、または SUBARU お客様センター「SUBARU コール」0120-052215 までお願いします。